



# みよしの映画人。



脚本を作る。演じる。撮影する。音を録る。編集する。上映する。映画製作のすべてを住民が行うプロジェクト。撮影は主に町内で行われ、3月に完成。仕事をしながら、学校に通いながら、育児をしながらも、三芳が好き、映画が好き。その一心で力を合わせて完成させた「三芳物語」。完成までの様子に密着しました。

## 三芳町民がつくる 三芳町の映画

「コピスde映画プロジェクト」は、コピスみよし創立10周年を記念し、映画を通じて三芳町の魅力を内外に発信すること、町内から映像制作者と表現者を発掘・育成することを目的に始まりました。

住民37人が参加し、最年少は小学1年生、最年長は80歳。1月からワークショップを行い、どのようなストーリーにするか話し合い、大人と子どもにわかれて、それぞれの観点から町の歴史、人、心、住んでいてわかることなど、町の魅力が伝わるようなストーリーをつくりあげていきました。

参加者の皆さんは映画製作の経験がありません。カメラの撮影方法や音の録り方などはプロの指導のもと事前に練習をし、撮影のノウハウを養います。これらの過程を経て、ようやく撮影に入っていくことができます。

演じる役者も住民の皆さんです。写真に写っている人たちはプロの役者に見えますが、初めて演技をした人ばかりです。このプロジェクトがきっかけで、将来この

三芳町からアカデミー賞を受賞する人が誕生するかもしれません。

【写真説明】右ページ・柳瀬川の河川敷で撮影。撮影日は強風が吹き、砂嵐が舞い、自転車が何度も倒れてしまった／①主人公の竜太郎、ヒロインのサキの小学生時代。渡ることを禁じられている川越街道を渡るのか迷う二人／②鋭い目でファインダーをのぞく。真剣なそのまなざしはプロのカメラマンのようだ／③オペラを歌い、結婚式を盛り上げる。プロ顔負けの迫真演技／④撮影に使用する小物も美術スタッフが用意する／⑤声や自然の録音に神経を研ぎ澄ます／⑥高校生時代のサキは何を思う……。この役の菅谷さんは期末試験の合間をぬっての撮影／⑦コピスみよし内の喫茶店を使用した撮影現場。ビデオはカメラと違いフラッシュがないため、レフ板を使い、光を当てる必要がある／⑧小学校のシーンのオフショット。みんなで撮影を楽しんだ／⑨旧島田家で偶然再会した竜太郎とサキ／⑩教室のシーンに映る習字や絵などは、参加者の手作り／⑪この物語の重要な意味をもつシーン

